

UNITE
FOR
GOOD

2025～2026年度
RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

WEEKLY REPORT

FEBRUARY.21.2026 第2176回
MARCH.4.2026 第2177回

UEDA EAST
上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長/山寺高太郎 幹事/倉島博 会報委員長/松山賢太郎

例会:毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場:上田東急REIホテル

事務局:上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

『こどもに家庭の暮らしを』わたしたちの町にフォスターホーム(養育里親)を



うえだ里親支援センター

増田 浩司様

寄留 可奈様

うえだ里親支援センターは、里親制度に基づき親の病気や貧困・虐待など様々な事情で家族と暮らせないこどもを自分の家庭で預かり、子育てをしてくださる里親さんの支援を行っている児童福祉施設です。里親に興味のある方などのお問い合わせから里親になるまで、そして里親になってからは、こどもを預かる前から預かった後も、一貫した手厚いサポートを行っています。

里親制度とは、児童福祉法に基づき、様々な事情で家族と暮らせないこどもを自分の家庭に迎え入れて、温かい愛情のもとで子育てをする公的な制度です。

養子縁組は法律上の親子となる制度で、特別養子縁組と普通養子縁組があり、特別養子縁組はこどもの福祉を目的としています。「養子縁組里親」は特別養子縁組を結ぶことを前提に預かる里親です。

「養育里親」は、こどもが家庭に戻る、あるいは自立するまでの間ご自分の家庭に迎え入れて養育する里親です。法律上も親子にはならないもので、こどもはまた家族と生活できるようになれば自分の家庭に戻るようになります。施設での生活が基本で週末等のみ預かるのではなく、こどもが家庭に戻れるようになるまで、又は自立するまでご自分の家庭でみてくださる里親になることです。他に、虐待や障がいなどの理由により専門的な援助を必要とするこどもを養育する専門里親などがあります。

うえだ里親支援センターが支援する養育里親を、愛称で「フォスターホーム」とお呼びしています。支援対象地域は、上田市を含む東北信地域8市町村にお住まいの方。うえだ里親支援センターは養育里親さんの支援を行う児童福祉施設です。

地域でこどもを育てる為、フォスターホーム・養育里親家庭を中心にこどもの育ちをチームで支えていきます。こどもの最善の利益の為に、様々な「こどものサポー

ト」の役割を担う県の児童相談所や、市町村・保育園等の福祉や学校教育、医療機関と連携しております。また、企業や自治会・学校PTAなど地域が一体となって、こどもそしてフォスターホーム・養育里親を支えていかれるように取り組んでいます。

現状は、フォスターホーム・養育里親に対する理解や関心はまだまです。フォスターホーム・養育里親に対する理解や関心が地域に広がっていかれるようにと願っています。自分の町のこどもは、自分の町で育てる。地域でこどもを育てる為、地域全体がチームの一員になって一緒に「チーム養育」を行っていきたいと思います。地域にフォスターホーム・養育里親が増えることで、こども一人ひとりのニーズに合った家庭で生活できるようになり、こどもが自分の地域から離れずに生活できるようになります。

フォスターホーム・養育里親になる為には、児童福祉法の里親制度に基づく長野県の養育里親としての登録が必要です。家庭訪問や面接の他、県が行う研修・実習などを受けて、里親審査部会で県が審査をして認められると養育里親に登録となります。こどもの養育についての理解と愛情をもっているなど、国や県が定めている養育里親の要件を満たした方が申し込むことができます。経済的負担については、こどもを預かった際には国や県の規定に基づき、こどもの養育費として里親手当、生活費、学校教育費、こどもの医療費などが支給されます。

うえだ里親支援センターは、お問い合わせから里親登録、そしてこどもが委託された後も児童相談所や市町村



などと連携しながら、一貫してサポートします。気軽に相談できる体制や学びの機会(研修)があります。地域全体にフォスターホーム・養育里親の理解や関心が広がって

いかれるように、会社や地域などにフォスターホーム・養育里親のお話をしたり、お声を掛けていただくと大変ありがたいです。もちろんフォスターホーム・養育里親になっていただける方、大歓迎です。「里親出前講座」も行っているため、会社や地域に広めていただく一つの方法として、ぜひご活用ください。

長野オレンジリボン活動について



児童養護施設森の家 はらとうげ
主任支援員 土屋 貴之様

オレンジリボン活動の話を見せてもらうにあたり、まず私が働いている児童養護施設についてお話させていただきたいと思います。

●児童養護施設について

県内には児童養護施設が14施設（東北信に7、中南信に7）、乳児院4施設、自立援助ホーム、児童心理治療施設（あさひ学園）、児童自立支援施設（波田学院）の21施設があります。

施設には様々な理由により入所している児童がいます。入所とは児童相談所から措置されて施設で生活することをいいます。期間は様々で、家庭環境、親子関係の修復により家庭復帰までか、家庭復帰が難しく高校卒業後自立した生活を行うまでの間生活しています。

入所理由の大半を占めているのが虐待です。虐待には4つの種類があります。身体的虐待（いわゆる殴る蹴るなどの攻撃的な暴力）、心理的虐待（主に言葉での暴力、両親の過度な喧嘩、DV）、性的虐待（子どもへの性行為、子どもに性器や性行為を見せること）、ネグレクト（保護者が子どもを残しての外出、食事を与えない、必要な医療機関に連れていかない）があります。

長野県の虐待相談件数は令和6年度2833件、県内の児童養護施設への入所人数は2月1日時点で約420人、乳児院約20人です。はらとうげに入所している児童の8割が虐待によるものです。

虐待を起こす背景には様々な理由があり、例として、
■保護者自身が虐待環境で育ち、そのかわりが当たり前だと思ってしまう場合。
■保護者自身に精神疾患や発達障がいがあり養育できない場合。
■子どもに精神疾患、発達障がいがあり、対応が困難だが周りに相談ができない場合。
などがあります。

児童養護施設には入所のほかに児童相談所からの一時保護（原則3か月以内）と、市町村からのショートステ

イ（原則1週間以内）、トワイライト（日中や短時間の預かり）があります。はらとうげでは、ここ1、2年トワイライト利用者が急増しています。今年の4月から1月までだけでも43件の利用があり、ショートステイも4月から1月までで30件89日の利用がありました。一時保護も4月から1月末までで592日の保護がありました。

【長野オレンジリボンの活動について】

まず、オレンジリボンとは「子供虐待のない社会の実現」を目指す運動のシンボルマークです。オレンジリボン運動の始まりは、平成16年に栃木県小山市で小さい兄弟が虐待で亡くなったことがきっかけでした。

長野県では2014年に県内の児童養護施設の職員の有志があつまり発足しました。発足当初は、長野市から松本市までマラソンや電車を使ったたすきリレーを行ってオレンジリボンのPR活動を行っていました。コロナの影響で大きなイベントとして活動することができなくなってしまったため、飯田地域、松本地域、長野地域、上田地域に分かれ、それぞれの地域でオレンジリボンのPRと「189」の認知度を高める活動を行うようになりました。

上田地域では3年前から活動を行っています。主には、11月に上田市役所内でのパネル展、真田まつり・古戦場マラソンで、啓発活動としてマスクやティッシュ、手作りオレンジリボンを配ったり、ワンコインサポーターを募集したりしています。長野オレンジリボンの活動資金は企業や個人からの寄付、ワンコインサポーターの方にグッズを購入してもらったお金で活動を行っています。

オレンジリボンの活動は、児童養護施設の職員だけでなく、今は、企業の方、学校機関、福祉関係者、市町村職員、市議会議員、県議会議員、一般の方など多くの方が実行委員として一緒に活動を行っています。

2015年に「189」という全国共通ダイヤルができ、2023年にこども家庭庁が発足し、今まで以上に虐待への対応に力を入れるようになりました。「189」とは『虐待かも』と思った時に最寄りの児童相談所に通告、相談できる共通ダイヤルのことです。189にかけたからといって通報者が特定されることはありません。様々な方法で「189」のPR活動を行ってきていますが、認知度はまだまだ低いのが現実です。「189」がどういった番号で、どこにつながるのかということも含め、今後も発信していきたいと思っています。

虐待が少しでも減ることを願っていますが、なかなか難しいことだということも仕事上感じています。なので、子どもが命を落とすことなく、救われるよう虐待についてや「189」について、今後も活動していきたいと思っています。

- 司会 小田中議君
- 斉唱 「君が代」「我等の生業」
- ゲスト 土屋貴之様(児童養護施設森の家はらとうげ主任支援員)
寄留可奈様(うえだ里親支援センター里親等支援員)
- 3月慶祝【周年祝い】

飯島洋一君 14年 水出博史君 7年
舟見哲也君 1年

【結婚記念日祝い】

手塚多佳彦君・美枝子君 3/11

竹内 強君・むつみ君 3/23

山寺高太郎君・真知子君 3/26

【誕生日祝い】

手塚達也君 3/1 小林正人君 3/5

手塚たつ子君 3/7 上條和宏君 3/10

水出博史君 3/15 橋詰武利君 3/17

飯島洋一君 3/18



- ラッキー賞 春原友紀君(季節のアレンジ花)

■会長挨拶 山寺 高太郎 会長



2月28日 やっぱりやったかトランプ大統領、イランとの話し合いはフェイクで不意打ちの準備だった。4年前、北京オリンピック後のプーチン大統領のウクライナ侵攻戦争と同様に始めました。これで、プーチンさんがトランプさんとの話し合いはいい加減にあしらっておけばいいという姿勢が証明され、アメリカやトランプさんとの話し合いは危険だと世界が納得してしまったことでしょう。オリンピックは、戦争準備の期間のことなんだということがよくわかりました。日本にとっては石油の心配もさることながら、台湾海峡をめぐる中国人民解放軍の動きも心配です。それにつけてもアメリカやイスラエルなど諸外国は情報面も含めて恐ろしい国々だ。

そして、3月3日はひな祭りであると共に「耳の日」だそうです。耳順の日でもあります。耳順とは60才のこと

で、人の話をよく聞き、理解してあげる年齢のことだそうです。最近では、60才すぎると人の話を聞かない人や聞いているだけの人が多い様に思いますが、そんな言葉もあることを知っておきたいものです。

来週は、高岡西クラブさんが大勢でお越しになります。盛大にして(できるだけ)品位・品格をもってお迎えしたいと思っています。参加する皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

■幹事報告 倉島 博 幹事

- ・3月のロータリーレート 1ドル=156円(←154円)
- ・会長エレクトラニングセミナー(PELS)のご案内が届く。※PETSから名称変更

3月21日(土) 飯田市

- ・RLI卒業コースのご案内が届く。3月28日(土)
- ・上小手話サークルより「第47回手話で結ぶ友の集い」支援依頼が届く。
- ・ガバナー補佐よりIM/会員セミナーのお礼状が届く。

■委嘱状の伝達

ガバナーより次年度の地区役員・委員の皆様へ委嘱状が届き、会長より手渡されました。お疲れ様です。

佐藤友則君 RLI委員会委員長
増田篤子君 地区補助金小委員会委員



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	52	50	18	—	64.00%
前々回	52	50	19	12	86.00%

ニコニコBOX

(敬称略)

飯島(裕)、石井、上原、小田中、久保、倉島、小林塩之入、春原、関、高野、滝澤(修)、竹内、田守、塚田手塚(た)、舟見、丸山、水出、蓑輪、宮澤、村上、母袋(創)母袋(卓)、柳澤亨、山寺

※蓑輪佳明君/オレンジリボンの会の皆様、ようこそ。
※山寺高太郎君/今月結婚記念日だそうです。決算もあります。思い出したくない事だらけですが、何とかやっていけそうです。

※小林正人君/明日で72歳にもなってしまいます。
※手塚たつ子君/年はいくつになったか忘れまして!
※高野智宏君/友愛賞をいただき。渡辺先生ありがとうございました。美味しかったです。

※竹内 強君/3月23日、親子共々の結婚記念日です。
※塩之入永子君/皆様にご心配おかけしまして申し訳ありませんでした。骨折も入院もなし打撲ですみました。まだ少し痛いですが…。

※母袋卓郎君/三寒四温春近し。畑の草取りしなきゃ!

本日の金額/41,000円 累計/866,000円

2月21日(土)、東信第一・第二グループ合同のIM(インターシティ ミーティング)/会員セミナーが佐久一萬里温泉ホテルで開催されました。基調講演・パネルディスカッションに続き、クイズ形式の会員セミナー・懇親会と、親睦を深めながら学ぶ一日でした。



【第一部 IM 基調講演～パネルディスカッション】

「これからの地域防災～ひとりひとりが考えなければならぬこと～」をテーマとして白田裕一郎氏（筑波大学教授・佐久市ご出身）の講演をお聞きしました。わかりやすいお話で大変勉強になりました。続いて柳田清二佐久市長、土屋勉佐久広域消防長、斉藤恵理子さん（上田六文銭RC会員）をパネラーとして、2019年の大雨災害時の対応などを中心にお話をお聞きしました。



【第二部 会員セミナー クイズで学ぶロータリー】

各クラブ2名が前に出て3択クイズに挑戦しました。なるべく会員歴の浅い会員を…という主催者からのご指示で当クラブからは柳澤誠君と橋詰洋平君が参加。全30問のクイズはロータリーの標語や創設時の人数などの知識の他「小林ガバナーの趣味は？」という問いもあり、笑いながらもためになるコーナーでした。



【第三部 懇親会】

まず次期ガバナー補佐のご紹介がありました。東信第一は倉本浩行さん、東信第二は桑原茂実さんです。懇親会の中で、会員セミナーのクイズの表彰式が行われました。クラブ対抗では第1位：上田RC、第2位：丸子RC、個人戦での1位・2位は上田RC会員でした。（当クラブも頑張りました！）地域防災について学び、楽しみながらロータリーについて学び、親睦を深めた時間となりました。



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	52	48	37	—	22.92%
前々回	52	50	21	14	86.00%